

～事業継続・発展のための資金を理解する～ 経営基盤を強くする 「資金管理・資金繰り」講座

関西校

財務管理

研修のねらい

企業の事業継続のためには、企業経営における資金の流れを理解することが重要であり、黒字だからといって資金の流れが止まってしまうと会社の存続に大きな影響を及ぼすことになります。

本研修では、持続的成長を目指すため、企業経営における資金の重要性、収益との関係について学ぶとともに、資金調達や資金繰りの基本的な考え方、資金繰り表の作成方法について演習を交えながら学びます。

研修のポイント

- ✓ 企業経営における収益と資金の関係について学びます。
- ✓ 様々な事例から資金の流れを把握し、資金繰り、資金構造について考えます。
- ✓ 演習を通じて資金繰り表を作成し、資金の側面から経営改善策等について検討します。

研修期間

2026 年
1/22^木～1/23^金
(2日間、12時間)

対象者

管理者・新任管理者

- ・ 資金管理の仕方を学びたい方
- ・ 会計情報の活かし方を学びたい経理担当者

定員 25 名

受講料 22,000 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内容
1/22 ^木	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	企業経営における経理活動・財務管理の重要性	企業経営においては、活動実績から迅速・適切な経営判断を行うことが重要です。そのため経理担当者に求められる実績を早期に取りまとめ、経営者の判断をサポートする重要性を学びます。 ・ 企業経営と資金構造 ・ 利益と資金の関係 ・ 企業における資金の流れ ・ 金融機関との交渉のポイント
	13:40-17:10	財務管理の基本的な考え方	経営における財務管理の重要性について、資金管理と収益性との関係について学び、円滑な資金の流れをつくるために必要な知識を習得します。 ・ 運転資金の影響 ・ 税金負担の影響 ・ 設備資金の影響（固定資産取得の収支予測）
1/23 ^金	9:30-12:30	事業継続のための資金管理・資金繰り表(演習)	資金繰りの考え方、資金繰り表の作成について、様々な事例を通じて学ぶとともに、ケース教材で資金繰り表作成から課題の抽出、改善策検討を行います。 ・ 手詰まりを防ぐ資金繰りのポイント ・ 資金繰り表の作成方法 ・ 資金繰り表の見方・改善への活かし方 ・ 資金繰り表により生じやすい誤解と対策
	13:30-16:00		
	16:00-16:10	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：12 時間 20 分

(特記事項) ・パソコン（貸し出しも行ってありますが、財務データ管理等の面から持参をおすすめします。）

・電卓

講師紹介（敬称略）

長尾公認会計士事務所
代表 公認会計士

長尾 義敦（ながお よしあつ）

長尾公認会計士事務所 代表 公認会計士
2002年公認会計士試験合格後、朝日監査法人（現 あずさ監査法人）に約11年間勤務し、主として、事業再生支援、M&A支援、法定監査、外部・内部研修講師等の業務を行う。
2014年 長尾公認会計士事務所として独立

松藤公認会計士事務所
代表 公認会計士

松藤 悠（まつふじ ゆう）

2001年公認会計士試験合格後、朝日監査法人（現 あずさ監査法人）に約12年間勤務し、主として、株式公開支援、M&A支援、法定監査、外部・内部研修講師等の業務を行う。
2013年 松藤公認会計士事務所として独立